



御前會議議題「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針」ニ關スル大東亞大臣説明

謹ミテ本案中第一方針竝ニ第二要領ノ一、二、三、及三ノ(四)ニ付キマシテ御説明申上ケマス

一、本案第一方針ニ關シ

總理大臣説明ノ提議理由ニ基キ今日大東亞戰爭完遂ノ爲帝國ノ探ルヘキ對支處理方針トシテ最モ肝要ナルコトハ(一)國民政府參戰ヲ以テ日支間局面打開ノ一大轉機トシ日文提携ノ根本精神ニ則リ專ラ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ヲ圖リ眞ニ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進スルコト及(二)世界戰局ノ推移ト睨合セ米英側反攻ノ最高潮ニ達スルニ先チ右ニ基ク對支諸施策ノ結實ヲ圖ルコトニ存スルト存セラレマス
仍テ右趣旨ヲ本案ノ方針ト致シマシタ次第テ御座リマス

0676

右方針一ニ依ル對支諸施策ノ要領ハ本案第三ニ掲ケテ居リマス又
右方針二ハ時機的ノ關係ニ於ケル帝國トシテノ努力目標ヲ示シタ
モノテ御座リマス

二 日華戰爭協力ニ關シ

帝國ハ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進スル旨ノコトハ右ノ通本案
方針ニ明示スル所テ御座リマスルカ之カ爲ニハ國民政府參戰ヲ機
トシ同政府トノ間ニ「米英ニ對スル共同ノ戰爭ヲ完遂スル爲日華
兩國ハ不動ノ決意ト信念トヲ以テ軍事上政治上經濟上完全ナル協
力ヲ爲ス」モノナル旨ノ基本的取極ヲ締結スルコトカ必要ナル
ト考ヘマスルト共ニ國民政府ヲシテ各般ニ百リ自強ノ途ヲ講ゼン
メ廣ク民心ヲ獲得シ特ニ戰爭完遂ニ必要ナル生産ノ増強、戰爭目

0677

的ニ對スル官民認識ノ普及竝ニ治安維持ノ強化等ノ確實ナル具現
ヲ圖リ戰爭協力ニ徹底遺憾ナカラシムルコトカ必要ナアルト存ス
ルヲ第ナ御座リマス

三 本案第三要領ニ國民政府ノ政治力強化ニ關シ

本案第三要領ニ、(イ)(ロ)(ハ)ニ據ケテ居リマスル所ハ國民政府政
治力強化策トシテ特ニ主要ナルモノニ付其ノ要領ヲ示ス總旨ヲ御
座リマス

(イ)項説明 國民政府ハ誕生以來日尙淺ク未タ成熟ノ域ニ達スルニ
至ツテ居リマセヌノナ之カ健全ナル育成ノ爲ニハ尙帝威ノ支援ト
好意的誘掖ヲ必要トスルコトハ當然ナアリマヌルケントモ眞ノ支
援誘掖ノ範圍ヲ逸脱シテ干涉ノ弊ニ陥ルカ如キコトカアリマシナ

ハ獨立政府トシテノ權威ト自尊心トヲ傷ケ其ノ創意ト責任感トヲ
殺スコトトナリ其ノ結果ハ同政府ノ政治力ノ強化ヲ妨クルコトト
ナルハ勿論政府ノ存立ソノモノノ意義ヲ滅却スルノ結果トナルノ
虞カアリマスルノテ帝國ハ國民政府ニ對シ勅メテ干涉ヲ避ケ極力
其ノ自發的活動ヲ促進スルコトカ國民政府ノ政治力強化上極メテ
緊要事ト認メ之ヲ本案第三要領一ノ(四)項ニ掲ケマシタル次第ヲ御
座リマス

(四)項説明 本案第三要領一ノ(四)項ニ掲ケマシタル地方的特殊性ノ
調整及國民政府ノ地方政府ニ對スル指導強化ニ關シマシテハ之カ
實行ニ當リ支那側中央地方相互間ニ無用ノ摩擦、感情的相刺ナカ
ラシムルノミナラス進テ融和的寒團氣ヲ醸成セシメ中央地方共ニ

0679

更新支那ノ構成分子トシテ協心戮力戰爭完遂ニ邁進セシムルト共ニ帝國トシテハ差當リ日華基本條約及附屬諸取極ニ反セサル範圍ニ於テ(1)省政府以下ノ各地方政府人事ニ關シテハ支那側ノ自由處置ニ任シ日本側ハ之ニ干渉セサルコト(2)省政府以下ノ施政ニ關スル日本側ノ指導乃至要求ハ作戦目標ニ限定スルヲ原則トシ關他ノ行政部門ニアリテハ廣ク支那側ニ任セ支那側ノ責任ト別意トヲ活用シ其ノ自發的活動ニ依ル政治力強化及積極的對日協力ヲ促進スルコト(3)日本側ハ支那側上級政府ノ下級政府ニ對スル指令ノ貫徹ヲ助長スルモノトシ末梢ニ於ケル干渉ニ依リ支那側施政ノ申配分斷スルカ如キコトナカラシムルコト(4)華北政務委員會ト中央政府トノ瀋陽關係ニ付テハ日華基本條約附屬諸條約及公文(甲)ニ依

キ所要ノ調整整理ヲ圖ラシムルト共ニ勉メテ兩者間ノ空氣ヲ融和
セシメ且相互ノ經濟的聯絡性ヲ一層密ナラシムルコト(5)蒙疆ニ關
シテハ華北トノ間ニ相互ノ經濟的聯絡性ヲ符ニ密ナラシムルコト
(6)武漢及廈門ニ關シテハ廣東ニ準シ爲シ得ル限り國民政府ノ政治
力ヲ滲透セシムルコト(7)海南島ニ關シテハ現狀ニ從ヒ日華基本條
約附屬秘密交換公文(甲)ヲ斟酌シ所妥ノ調整ヲ行フコトカ必要
テアルト考ヘテ居リマス

(イ)項説明 本案第三要領(一)(イ)項中ノ租界ニ關シマシテハ帝國ノ
專管租界非チ天津、杭州、蘇州、漢口、沙市、重慶、廈門、福州
ノ日本租界ヲ支那側ニ還付スル爲メ上海及廈門ノ共同租界ヲ支那
側ニ移管スル爲メ國民政府參戰ヲ機トシ同政府トノ間ニ所要ノ取極

ヲ締結スルコトトシ而シテ右尋常租界還付ニ關スル收徳ノ實施ニ
 關シテハ日華兩國政府天々回數ノ委員ヲ任命シ所要ノ事項ヲ議定
 セシムルコトトシ又上海及廈門ノ共同租界移管ニ關スル收徳ニ於
 テハ「日本國政府ハ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ中華民國國民
 政府ニ於テ成ルヘク速ニ上海共同租界及廈門共同租界ヲ回收スル
 コトニ同意ス」ル旨ヲ定メ右兩收徳ハ孰レモ之ヲ公表スルコトカ
 政治的効果ヲ擧グル上ヨリシテ適當テアルト存シテ啓リマス
 本案第三要領一ノ内項中治外法權ノ撤廢ニ關シマシテハ治外法權
 撤廢ニ關スル具體案ヲ審議作成セシメ併セテ支那側ノ内地開放ニ
 關シテ研究セシムル目的ヲ以テ日華專門委員會ヲ設置スル爲國民政
 府參戰ヲ機トシ國民政府トノ間ニ所要ノ收徳ヲ締結シテ之ヲ公表

スルコトトシ而シテ帝國トシテハ治外法權撤廢ノ實行ハ前記專門
委員會ニ於ケル具體案ノ作成ニ伴ヒ漸次之ヲ實施ニ移シテ全面的
撤廢ニ及フコトトシ先ツ國民政府ニ對スル財政援助ノ目的ヲ以テ
課税ニ關スル我方特權ニ付速ニ調整ヲ加フル爲専門委員會ヲシテ
先ツ課税問題ノ研究ニ當ラシムルヲ適當ト考ヘテ居ル次第テ御座
リマス

本案第三號領下ノ(イ)項ニ所謂「其ノ他特異ノ事態」中ニハ北京公
使館區域及日華基本條約附屬議定書第一條ニ所謂「特殊事態」即
チ例ハハ各種徵稅機關ニシテ特異ノ狀態ニアルモノ及買賣理工場
等ヲモ含ムモノヲ御座リマスルカ右ノ中北京公使館區域ニ付テハ
之ヲ支那側ニ移管スル爲國民政府參戰ヲ期トシ同政府トノ間取

極ヲ締結シテ之ヲ公表スルコトトシ又所謂「特殊事態」ニ付テモ
 支那ノ主權及領土尊嚴ノ趣旨ニ基キ速ニ之カ撤廢乃至調整ヲ圖ル
 コトカ國民政府ノ政治力強化上必要テアルト考ヘテ居リマス
 尙九龍租借地ノ處理ニ關シマシテハ香港ト併セ別途之ヲ定ムルコ
 トカ適當ト考ヘラレマヌルノテ其ノ旨ヲ明カニ致シマシタ
 (二)項説明 本案第三要領一ノ(二)項ハ國民政府ノ自強方策及戰爭協
 力方策ニ關スルモノテ御座リマス國民政府ヲシテ各級ニ亘リ自強
 ノ途ヲ講セシムルノ必要カアルコトハ申ス迄モ御座リマセヌ
 例へハ人的、精神的及機構的ニモ戰時態勢ノ強化ヲ圖ラシムルコ
 トカ必要テアリ又自ラ其ノ財政ヲ強化スル爲有ラユル方策ヲ講セ
 シメ特ニ尙政府治下ノ治安ヲ確立シ經濟力ノ伸張ヲ圖ラシムルコ

0684

トカ必要ナルト考ヘマス而シテ帝國ハ右國民政府財政自彊方策
 ニ對シ援助ヲ與フルモノトシ特ニ前述ノ如ク治外法權等ニ共ク課
 税ニ關スル我方特種ニ付調整ヲ加フルト共ニ國民政府ノ關稅、轉
 口税及統稅等ノ稅率其ノ他ノ合理的改正政ニ備備券ノ價值維持等
 ニ付所要ノ援助ヲ與フルコトカ必要ナルト考ヘテ居リマス
 國民政府ノ戰爭協力ニ付キマシテハ變ニ申述ヘマシタ通りテ御座
 リマス

(例) 項説明 本案第三要領一ノ(例)ニ於テ將來國民政府ノ充實強化政
 ニ其ノ對日協力ノ具現等ニ照應シ適時日華基本條約及附屬諸取極
 ニ所要ノ修正ヲ加フルコトヲ考慮スル旨ヲ掲ケマシタル所以ニ付
 概略ヲ申上ケマシレハ總理大臣ノ本案提案理由説明中ニアリマン

タル如ク大東亞戰爭發生前ニ於キマシテハ帝國ハ支那ニ於ケル米
 英ノ跳梁ヲ現存セシメツツ事變處理ノ方途ヲ講セサルヲ得サル勢
 情ニ置カレテ居リマシタ關係モアリ之ニ對抗スル必要ト米英ト苟
 結スル支那抗日勢力ノ再燃ニ對スル備ヘテ爲ス必要等ニ基キ帝國
 ノ對支要求條件ハ必シモ現下ノ新事態ニ適合セサル點カアリマス
 ルコトハ否ミ難キ所ト存セウルルノテ御座リマス然カノミナラス
 大東亞戰爭發生後ノ今日ニ於キマシテハ帝國最高ノ緊要事ハ米英
 ニ對シ勝ツニ在リア支那トハ關係ニ於キマシテ出來得ル限り速ニ
 眞ニ日支一體トナリ戰爭完遂ニ邁進スルノ態勢ヲ確立スルコトカ
 緊要テアルト認メラルルノゾアリマスルカ之カ爲ニハ支那側ニ對
 シ今後ノ日支關係ニ付光明ヲ與ヘ重慶抗日ノ根據名目ヲ覆滅スル

コトカ必要テアルト存セラレマス斯ル事情ニ鑑ミマシテ必シモ従
 來ノ經緯ニ拘泥スルコトナク將來適當ナル時機ニ於テ日華基本條
 約及附屬諸取極ニ所要ノ修正ヲ加フルコトヲ考慮スルコトカ適當
 テアルト存セララルル次第ア御座リマス尤モ如何ナル時機ニ於テ如
 何ナル修正ヲ加フルカニ付キマシテハ慎重ナル考慮ヲ要スル儀ト
 存シマス

尙本案第三要領一ニ掲ケマシタル以外在支敵産處理ニ關シマシテ
 モ出來得ル限り支那側ニ對シ好意的措置ヲ講シ民心ノ獲得國民政
 府ノ政治力強化ニ資スルコトカ適當テアルト存シテ居リマス

四 本案第三要領三經濟施策ニ關シ

(1) 項說明 帝國ノ物的勢力ノ急速ナル増強カ國家當面ノ緊要點ヲ

アリマスルコトハ贅言ヲ俟タサル所テ御座リマス而シテ帝國ノ物的戦力増強上支那方面ニ對スル期待ハ益々緊切ナルモノカアルノテアリマスルニ依リ本案第三要領ニノ(イ)項ニ於キマシテ當面ノ對支經濟施策ノ重點ヲ明カニ致シマシタ次第テ御座リマス即チ當面ノ對支經濟施策ハ戰爭完遂上必要トスル物資獲得ノ増大ヲ主眼トシ占據地域内ニ於ケル緊要物資ノ重點的開發取得並ニ敵方物資ノ積極的獲得ヲ圖ルコトニ在ル旨ヲ明示致シマシタ之カ實行ノ爲ニハ政府ハ統帥部ト策應シ有ラニル努力ヲ傾注スル覺悟テ御座リマス尙支那ニ於ケル物資ノ獲得及統制ニ付キマシテハ物資取得ヲ増大シ併セテ民生ニ資スル爲物資統制ヲ合理化スルト共ニ物資買上價格ノ適正化ヲ圖ル必要カアルト考ヘテ居リマス。

(ロ)項説明 對支經濟施策ノ實行ニ當リテハ日本側ノ獨占ヲ戒ムル
ト共ニ支那側官民ノ責任ト創意トヲ活用シ其ノ積極的對日協力ヲ
具現セシムルコトカ肝要ト認メラレマヌルノテ右ノ趣旨ヲ本條第
ニ要領三ノ(ロ)ニ掲ケマシタ次第テ御座リマス支那側官民ノ積極的
ナル經濟活動及對日協力ヲ促進致シマスル爲ニハ差當リ日支合辦
ノ支那法人ヲシテ名實共ニ支那側ノ監督下ニ置キ其ノ資本、人的
構成、免稅特權其ノ他ニ付根本的調整ヲ加フル外一般物資ノ生産
及配給ニ當リテモ日本側ノ獨占ヲ避ケ支那側ヲシテ參加均霑セシ
ムル措置ヲ講スルコトカ必要ナルト考ヘテ居リマス

五 國民政府ノ對重慶方策ニ關シ

帝國ノ對重慶方策ニ付キマシテハ本條第ニ要領三ノ(イ)項ニ掲ケテ

0689

居リマスルカ國民政府ノ對其態度ハ右帝國ノ態度ニ順應セシム
 ルコトカ適當ト考ヘラレマスノテ其ノ旨ヲ回ニ揭ケマシタ次第テ
 御座リマス國民政府ヲシテ現情勢下ニ於テハ重慶ニ對スル一切ノ
 和平工作ヲ清算セシメ一意自強ノ方策ヲ確立シツツ眞ニ日支一體
 戰爭協力ニ邁進セシムルコトカ參戰ニ伴フ同政府ノ新ナル使命ニ
 モ鑑ミ適當テアルト存セララルル次第テ御座リマス

六 爾他ノ具体的方策ニ關シ

本案ニ基ク上述以外ノ具体的方策ハ所要ニ應シ別ニ定メテ實行ニ
 移シテ行クヘキモノト存シマス

本案ノ實行ニ當リマシテハ一方國內人心ノ指導ニ留意致シマスル
 ト共ニ他方對外殊ニ對支宣傳戰ヲ活潑ニ展開シ極力政治的効果ヲ

大ナラシムル如ク施策スルノ要緊切ナルモノアリト考ヘテ層ル次
第テ御座リマス

際スルニ以上本案ノ目的トスル所ハ大東亞戦争完遂ノ爲日支提携
ノ根本精神ニ則リ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ
根據名目ノ覆滅ヲ圖リ敵ニ更新支那ト一體戦争完遂ニ邁進スルコ
トヲ根本方針トシ之カ爲必具ナル施策ハ必シモ從來ノ經緯ニ拘泥
スルコトナク果敢ニ實行センコトヲ期スルモノデアリマシテ深ク
今日ノ戦争遂行ノ要請ニ基クモノト存スル次第デアリマス
以上ヲ以テ私ノ説明ヲ終リマス

0691